

令和3年7月26日

すずかけ台地区に勤務する教職員 各位

(大岡山キャンパスの教職員がすずかけ台キャンパスに来ることもあるため、全教職員に送付しています)

副学長(地区安全管理担当) 湯浅 英哉
すずかけ台地区部局長等懇談会 主査 大竹 尚登
すずかけ地区安全衛生委員会 委員長 原 亨和

大雨・台風時における教職員の行動について(通知)

7月7日に通知したとおり、すずかけ台キャンパス内には複数の土砂災害警戒区域及び特別警戒区域があり、早めに避難をしていただく必要があることから、大雨・台風時における教職員の行動の目安をお送りいたします。

まず、先生方におかれましては、災害の発生に先立って学生の安全確保をお願いしたく、早めに帰宅をさせるなどのご配慮をお願いします。

災害発生時においては、被害状況は個々の事象と場所により異なりますので、適宜、状況を判断の上、適切な対応をお取りいただくようお願いいたします。また、帰宅困難となった場合の避難場所について、いくつか問い合わせをいただいておりますが、予期せぬゲリラ豪雨や落雷による停電等で、帰宅困難となった場合でも、横浜市より「避難指示」が出た際に建物を封鎖するよう指示のあったR3-C棟及びB棟以外は、建物封鎖はいたしません。帰宅困難になった場合には、自室で待機いただき、それでは危険であると判断される場合は、上層階等垂直に避難いただくようお願いいたします。必要に応じて大学会館、J2・J3棟等を避難所候補とすることについて、今後検討し準備いたします。

また、土砂災害で被害を受ける可能性のある研究室等については、すずかけ台安全管理グループより、個別に連絡いたします。

現在、施設運営部において、緊急で補強等の措置が必要な危険個所の洗い出しを行っておりますので、結果がわかりましたら、すずかけ台地区部局長等懇談会及びすずかけ台地区安全衛生委員会等で共有いたします。

以上、どうぞよろしく願いいたします。

本件担当：

総務部すずかけ台総務課
すずかけ台安全管理グループ
山本・平野・大塚
suz.anzen@jim.titech.ac.jp

大雨・台風時における教職員の行動について（すずかけ台キャンパス）

警戒 レベル	避難情報等		すずかけ台地区における行動の目安 (状況により、各自判断願います)
5	緊急安全確保 (地方自治体)	災害発生 又は切迫	・安全に避難できない状況のため、無理に帰宅しない
4	避難指示 (地方自治体)	災害のおそれ高い (危険な場所から 全員避難)	・ただちに帰宅 ・交通機関が止まる可能性がある場合は、無理に帰宅しない
3	高齢者等避難 (地方自治体)	災害のおそれあり	・学生への帰宅を促し、教職員も帰宅を開始 ・土砂災害被害を受ける可能性のある建物からは、必ず退避
2	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	気象状況悪化	・報道や下記のサイト等の情報に留意する
1	早期注意情報 (気象庁)	今後気象状況 悪化のおそれ	

[参考]

キキクル(気象庁)

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#zoom:10/lat:35.463466/lon:139.574432/colordepth:normal/elements:land>

神奈川県土砂災害情報ポータル

<https://dosyasaigai.pref.kanagawa.jp/website/kanagawa/gis/index.html>